

平成22年度支部定例シンポジウム ～ORとその応用～ 【平成22年度中国・四国支部支部運営費】活動報告

1. 活動内容

日時：平成22年11月12日（金）13時00分～16時35分

会場：高知大学 朝倉キャンパス 人文学部棟 第2会議室
(〒780-8520 高知市曙町2丁目 5-1 高知大学人文学部)

組織：実行委員長 大橋 守（徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部・教授）
実行委員 円谷 友英（高知大学教育研究部・准教授）

プログラム

特別講演（13：30-14：30）

講師：岩崎幸子((株)サニーマート)

講演題目：「流通・小売業におけるマーチャンダイジングとOR」

一般講演（25）：発表 20 分 + 質疑応答 5 分

(1) 14:40 - 15:05 宇野剛史(徳島大学大学院SAS研究部)

「ファジィランダム需要を伴う競合施設配置問題の研究」

(2) 15:05 - 15:30 中山慎一（徳島大学大学院SAS研究部）

「台形グラフ、および、そのサブグラフ上におけるc-ランキング問題を解く多項式時間アルゴリズム
について」

―― 休憩（15分）――

(3) 15:45 - 16:10 山田茂（鳥取大学大学院工学研究科）

「品質指向ソフトウェアマネジメントにおけるプロセスデータ分析とソフトウェア信頼性評価」

(4) 16:10 - 16:35 杉原一臣（福井工業大学）

「RoboCup3Dシミュレーションリーグの取組みと今後の課題」

2. 会計報告

摘要	単価	数量	金額	備考	税金
会場費	0	1	0		0
特別講師謝金	11,111	1	11,111	領収書	1111
一般講演の謝金	11,111	2	22,222	領収書	2222
(四国内)	5,555	2	11,110	領収書	1110
会場準備等			5,557	世話人領収書	
お菓子等	3,221		3,221		
懇親会補助	2,336		2,336		
合計			50,000		4443
入金					
摘要	単価	数量	金額	備考	
支部事業費	50,000	1	50,000		
合計			50,000		

実施報告、会計報告、明細、領収書を監査した結果、適切に処理されていることを確認致しました。

署名

西崎 一郎



署名

福山 敬



次世代ロジスティクス&SCM研究部会【平成22年度中国・四国支部 運営費】活動報告

(主査：上野信行(県立広島大学)，幹事：韓虎剛(県立広島大学)，副幹事：重丸伸二(県立広島大学))

1. 実施報告

1.1 第1回研究会

日時：平成22年9月17日(金) 14:00～17:30

場所：広島経済大学立町キャンパス

(住所：広島市中区立町2-25 IG石田学園ビル(旧広島ロプロビル))

共催：日本経営システム学会中国四国支部，

日本OR学会「ソフトコンピューティングと最適化」研究部会

協賛：日本生産管理学会中国四国支部，日本機械学会中国四国支部

後援：計測自動制御学会中国支部，電子情報通信学会中国支部

内容：

(1) 14:00～14:10

挨拶 上野 信行(県立広島大学経営情報学部 教授)

(2) 14:10～15:40

題目「イノベーションを支援するリスク分析ソリューションの研究」

村山 秀次郎(広島経済大学 経済学部 ビジネス情報学科 教授)

概要

製造現場で発生する事故(製造ミス)は製造原価に与える影響が大であり，リスクマネジメントとして捉える企業が増えている。しかし，防止策は事故単位で策定されているのが現実であり，相対的に事故は減少していない。発表者が提案している問題解決プロセスを製造現場で適用推進することで，製造現場に新たな知が芽生えてきた。まさにイノベーションが起こりつつある。提案プロセスの実証を通しての評価と他業種への適用をソリューションとしてどう展開するかについても説明があった。

(3) 16:00～17:30

題目「サービス業の生産性向上に向けて～大規模データの計算モデル化によるアプローチ～」

本村 陽一(産業技術総合研究所サービス工学研究センター大規模データ・モデリング研究室リーダー兼デジタルヒューマン研究センター人間動作理解チーム主任研究員)

概要

サービス業の生産性向上のためには現場の客観的な観測とアクションの最適化が重要である。そこで現在，i)現場で生成される大規模データから因果的な構造を持

つ確率モデルであるベイジアンネットを構築し，ii)この計算モデル上で統計的な制御を行い，iii)仮説とするアクションを事前に評価し，iv)最適なアクションを決定する，という手法の研究を行っている。この方法論について小売やコンテンツサービスの具体的事例を交えて紹介された。

出席者：約40名

1. 2 第2回研究会

日時：平成23年2月10日（木）14：00～17：30

場所：広島経済大学立町キャンパス

（住所：広島市中区立町2-25 IG石田学園ビル（旧広島ロプロビル））

共催：日本経営システム学会中国四国支部，

協賛：日本機械学会中国四国支部，日本生産管理学会中国・四国支部

後援：電子情報通信学会中国支部

内容：

(1) 14：00～14：10

挨拶 上野 信行（県立広島大学経営情報学部 教授）

(2) 14：10～15：40

題目「研究事例に基づくサービス数学の創成—数式による日本酒の醸造—」

伊藤 昭夫氏（近畿大学工学部 准教授）

概要

産業分野に貢献できる数学／数理科学を創成するために産業数理学が誕生したように，新サービスの創出や既存サービスの評価・改善などに貢献できる数学／数理科学を創成する必要がある。本講演では，研究事例として日本酒醸造技術の自動化を見据えた数学／数理科学の視点からのアプローチを取り上げ，醸造過程のモデリングとそのシミュレーション結果について紹介された。また，現在目標とされているサービス分野を支える形式知としての『サービス数学』について提案された。

(3) 16：00～17：30

題目「レストラン「賀露幸」における経営方針のイノベーション」

福嶋 登美子氏（ブリリアントアソシエイツ株式会社 代表取締役）

概要

2006年より経営されている鳥取県の賀露港にあるレストラン「賀露幸」について，まず，経営に携わることになった経緯および経営開始当初の店舗の状態について紹介があった。その上で，調理場の改善やスタッフの意識改革などをどのようにおこなったか，そして，その結果，集客数やスタッフがどのように変化したかなど具体例を挙げて紹介された。また今後の計画についても紹介された。

出席者：約30名

2. 会計報告

	決算	備考
(収入の部)		
支部交付金	25,000	
収入合計①	25000	
(支出の部)		
講演謝金 (9月17日)	11,111	@11,111×1
講演謝金 (2月10日)	11,111	@11,111×1
その他	2,778	研究会お茶代, 事務経費等
支出合計②	25000	
残高 (①-②)	0	

以上

実施報告, 会計報告, 領収書を監査した結果, 適切に処理されていることを確認致しました.

署名

福山 敬一



署名

福山 敬

